

コフロック

韓国半導体向け製品販売強化のため合併会社
設置、PI機能付きMFCの販売強化

コフロック（京都府京田辺市、小島望社長）は韓国での半導体向け製品販売強化を目的に、同社韓国販売店と共同出資で合併会社契約を3月6日に締結した。韓国市場での事業拡大を狙う意向だ。

設立した合併会社『KOFLOC KOREA』はコフロック京田辺工場で生産するすべての製品を韓国に販売する。一般産業マーケットをベースに半導体市場への深耕、半導体以外のディスプレイ市場向け拡販も視野に入れる。

立ち上げ時点では従業員数名で営業を中心に行う体制だが、将来的に現地でのアフターサービス体制や生産体制の構築を視野に入れる。

同社開発本部古川俊太本部長は「KOFLOC KOREAで主力商品となるのが24年1月から販売開始している、供給側の圧力変動を検知し流量を安定させるPI（Pressure Insensitive）機能付きマスフローコントローラー（MFC）、『MODEL ST-500 SERIES』である。韓国ではPI機能付きMFCが求められることが多く、この機能が付いていることが市場参入するために必要だった。既にお客様のラインで評価中のものもある」とする。

通常、半導体工程で供給されるガスはレ

ギュレーターで圧力調整後、MFCで流量調整するが、同機は1機でそれらの役割を担い得るところが特徴だ。従来型のMFCは供給側の圧力の変動に過敏に反応して流量が乱れるという課題があったが、同機は流量センサーの前段に圧力センサーを搭載しており、圧力センサーが圧力変動を検知すると瞬時にバルブ開度への補正を加え流量変動を最小限に抑える。レギュレーターを省略した設計の検討を可能にし、設置面積や部品点数の最適化に伴うコスト削減にも繋がる。



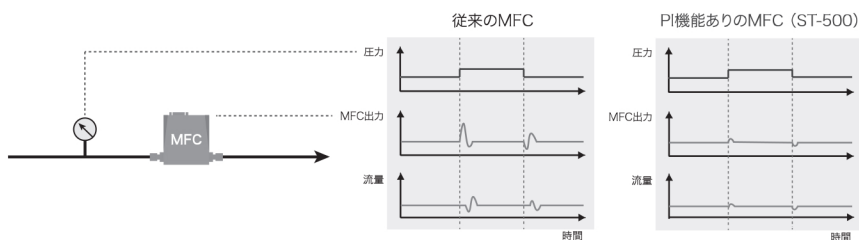
PI機能付きMFC『MODEL ST-500 SERIES』

また、PI機能を省いた『MODEL ST-550 SERIES』も25年4月から発売している。古川本部長は「PI機能は韓国以外のお客様には普及していないため、コストメリットを優先した機種を開発した」としている。デバイスネット、イーサネットといった産業ネットワーク規格のほか、RS485やアナログ電圧や電流による制御にも対応している。

MODEL ST-500 SERIES ラインナップ一覧

	デバイスネット	イーサネット	RS-485 アナログ電流・電圧
ST-500 (PIあり)	○	○	×
ST-550 (PIなし)	○	○	○

PI機能ありMFCと従来MFCの圧力変動に対する出力と流量の比較



流体を科学する

PIマスフローコントローラ
MODEL ST-500 SERIES

NEW

●制御範囲 (N₂) : 0.2SCCM~30SLM

●PI…Pressure Insensitive (ST-500のみ)
圧力変動に対し安定した流量制御

●ダイヤフラム式バルブ採用の
メタルシールMFCで、EP処理及び
酸化被膜処理により腐蝕性流体に対応

●DeviceNet[®]、EtherCAT[®]、
RS485通信対応
(ST-550のみ)

●IGS Wシール継手対応

●S.P.精度で高精度な計測制御が可能、
全流量制御範囲 応答1sec以内

●専用アプリによるマルチレンジ機能 (30~100%F.S.)



コフロック株式会社

<https://www.kofloc.co.jp/>

■本社・京田辺工場 京都府京田辺市草内当ノ木1-3 TEL:0774-62-4411
■東京メインオフィス TEL:03-3664-0200 ■大阪オフィス TEL:06-4861-4441
■名古屋オフィス TEL:052-583-0411

